

PAT-NO: JP410025927A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10025927 A

TITLE: HANGING LANTERN FOR GRAVE

PUBN-DATE: January 27, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

NAKATANI, KOICHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

NAKATANI KOICHI

N/A

NAKAO KOICHI

N/A

APPL-NO: JP08203230

APPL-DATE: July 11, 1996

INT-CL (IPC): E04H013/00, A47G033/00 , F21L019/00 , F21P001/02

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve a kindling property, a wind breaking property, and appearance by providing a decorative front face plate (a wind breaking plate) with glass windows capable of rising and falling on a hanging lantern comprising a candle stand, a rear face plate, a roof plate, or the like by means of hinges.

SOLUTION: On a foundation table 2 equipped with a candle stand 4, a rear plate 3 having a mirror-finished front face and a roof plate 6 are attached, and a front plate (a wind breaking plate) 5 having windows 5a with a glass plate 7 is mounted capable of rising and falling by means of hinges, thereby forming a hanging lantern 1 for a grave. The lantern 1 for a grave is formed

into a semicircular shape in its plan view, a three mirror shape, and a polygonal shape, and a decorative portion 3a is formed for improving its appearance. Diffused reflection caused by the mirror faces creates a scene as if a plurality of candles stand there. When the candle is set fire, the front face plate 5 is fallen about a fulcrum of the hinges, and after setting fire, the front face plate 5 is raised to engage. In this manner, a lantern can be formed having a good kindling property or appearance.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

~~431/289~~ 431/289

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-25927

(43) 公開日 平成10年(1998) 1月27日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
E 0 4 H 13/00			E 0 4 H 13/00	J
A 4 7 G 33/00			A 4 7 G 33/00	D
F 2 1 L 19/00			F 2 1 L 19/00	A
F 2 1 P 1/02			F 2 1 P 1/02	A

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平8-203230

(22) 出願日 平成8年(1996) 7月11日

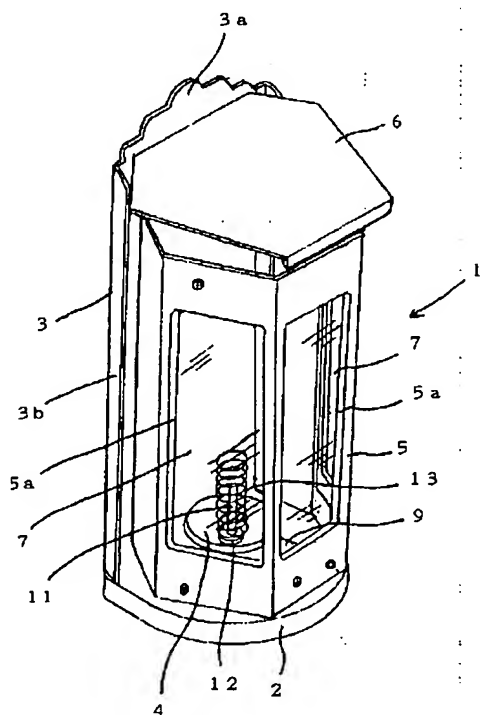
(71) 出願人 396016065
中谷 好一
大阪府豊中市勝部3丁目4番13号
(71) 出願人 396016076
中尾 好市
大阪府豊中市勝部3丁目4番13号
(72) 発明者 中谷 好一
大阪府豊中市勝部3丁目4番13号
(74) 代理人 弁理士 田村 巖

(54) 【発明の名称】 墓前用灯籠

(57) 【要約】

【課題】 構造が簡単であり、ろうそく立てに立てられたろうそくに火をつけやすく、ろうそくに火をつけた後には風によってろうそくの火が消えることがなく、しかも雨の侵入を防ぐことができ、雨によってもろうそくの火が消えることがなく、かつ装飾性に優れ、外観上見栄えのよい墓前用灯籠を提供する。

【解決手段】 基台と、前記基台の後側に上向きに立設された背面板と、前記基台の上面略中央部に配置されたろうそく立てと、前記基台上の前側に起倒可能に配設され、起立時に前記ろうそく立てを取り囲み、少なくとも1つの覗き窓を設けた前面板と、前記背面板の上端近傍箇所に着着され、前記前面板の上部を覆う屋根板とを備え、前記前面板の覗き窓の内側にはガラス板が着着され、前記前面板は、基台に対して基台の上面に配設された板バネとこの板バネの先端下面に着着された蝶番によって起倒可能に着着され、更に、起立時に板バネの蝶番に対する押圧力で前面板が起立方向へ付勢されて前倒れを阻止した構造としたことを特徴とする墓前用灯籠。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 基台と、前記基台の後側に上向きに立設された背面板と、前記基台の上面略中央部に配置されたろうソク立てと、前記基台上の前側に起倒可能に配設され、起立時に前記ろうソク立てを取り囲み、少なくとも1つの覗き窓を設けた前面板と、前記背面板の上端近傍箇所に装着され、前記前面板の上部を覆う屋根板とを備え、前記前面板の覗き窓の内側にはガラス板が装着され、前記前面板は、基台に対して基台の上面に配設された板バネとこの板バネの先端下面に装着された蝶番によって起倒可能に装着され、更に、起立時に板バネの蝶番に対する押圧力で前面板が起立方向へ付勢されて前倒れを阻止した構造としたことを特徴とする墓前用灯籠。

【請求項2】 前記背面板の前面が鏡面仕上げされている請求項1に記載の墓前用灯籠。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】本発明は、墓場における墓又は室内の仏壇等の前側に配置され、ろうソクを立ててこのろうソクの火を灯すための墓前用灯籠に関する。

【0002】

【従来の技術】一般に、墓場における墓又は室内の仏壇等の前には、お盆時等にろうソクを立ててこのろうソクの火を灯して故人の冥福を祈るためのろうソク立てが配置されている。この従来のろうソク立ては、基台の上に透明な筒状体を嵌め込み、基台の中央部に立設された芯材にろうソクを立てて、このろうソクに火を灯すようになっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、上記従来のろうソク立てにおいては、筒状体を基台に嵌め込んだままで、ろうソクに火をつけるときに、短いろうソクに火をつけるには、筒状体があるためにこの筒状体の内部に上側から火を奥深く入れて火をつけなくてはならないために、この作業が行い難く、この火がとすると手について熱かったり、最悪の場合には火傷を負う場合があるという問題があった。また、短いろうソクに火をつけるときに、筒状体を基台から取り外してから火をつけることもできるが、この場合、墓場に風が吹いているときには、火が消えやすくろうソクに火をつけ難いという問題があった。しかも、従来のろうソク立ては、基台に筒状体を嵌め込んだだけのものであるため、装飾性に乏しく、外観上見栄えが良くないという問題があった。

【0004】更に、従来のろうソク立ては、筒状体の上部が開口されているために、雨が降ってくると、この雨によってろうソクの火が消えてしまうという問題があった。本発明の課題は、上記従来の問題を解消することであり、構造が簡単であり、更に、ろうソク立てに立てられたろうソクに火をつけやすく、ろうソクに火をつけた後には風によってろうソクの火が消えることがなく、し

2

かも雨の侵入を防ぐことができ雨によってもろうソクの火が消えることがなく、かつ装飾性に優れ外観上見栄えのよい墓前用灯籠を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、基台と、前記基台の後側に上向きに立設された背面板と、前記基台の上面略中央部に配置されたろうソク立てと、前記基台上の前側に起倒可能に配設され、起立時に前記ろうソク立てを取り囲み、少なくとも1つの覗き窓を設けた前面板と、前記背面板の上端近傍箇所に装着され、前記前面板の上部を覆う屋根板とを備え、前記前面板の覗き窓の内側にはガラス板が装着され、前記前面板は、基台に対して基台の上面に配設された板バネとこの板バネの先端下面に装着された蝶番によって起倒可能に装着され、更に、起立時に板バネの蝶番に対する押圧力で前面板が起立方向へ付勢されて前倒れを阻止した構造としたことを特徴とする墓前用灯籠に係る。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る墓前用灯籠の一実施の形態について、図面を参照しつつ説明する。図1は実施の形態の墓前用灯籠における前面板を起立したときの斜視図、図2は実施の形態の墓前用灯籠における前面板を前側に倒したときの斜視図、図3は実施の形態の墓前用灯籠における前面板を起立したときの中央縦端面図、図4は実施の形態の墓前用灯籠における前面板を前側に倒したときの中央縦端面図である。

【0007】この実施の形態の墓前用灯籠1は、平面視略半円弧状であって、裏面内部にゴム板2aが嵌め入れられた基台2と、基台2の後側に上向きに立設され、上端部が円弧段形状の装飾部3aを有し、左右両端が内側に折曲された折曲片3bが形成された背面板3と、基台2の上面略中央部に配置されたろうソク立て4と、基台2上の前側に起倒可能に配設され、起立時にろうソク立て4を取り囲み、逆向き三面鏡形状であって、各面に覗き窓5aをそれぞれ設けた前面板5と、背面板3の上端近傍箇所に装着され、平面視略台形状であって、背面側から前側にむけて斜め下向きに傾斜して前面板5の上部を覆う屋根板6とを備えている。そして、前面板5の覗き窓5aの内側にはガラス板7が後述する係爪部材8によって装着されている。また、前面板5は、基台2に対して基台2の上面に配設された板バネ9とこの板バネ9の先端下面に装着された蝶番10によって起倒可能に装着され、更に、起立時に板バネ9の蝶番10に対する押圧力で前面板5が起立方向へ付勢されて前倒れを阻止した構造となっている。

【0008】ろうソク立て4は、板バネ9の上面に配置され、このろうソク立て4と板バネ9とは芯材11の下部のボルト部11aの螺入によって基台2の上面に装着されている。ろうソク立て4は皿状に形成され、このろうソク立て4の中央部に螺入された芯材11の下端部

に、ロウソク漏防止用のパッキン12が嵌められ、更に、芯材11を取り囲むようにして、芯材11に立てられるロウソク（図示略）を保持してロウソクの倒れを防止するためのスプリング13が配設されている。

【0009】ガラス板7を前面板5の覗き窓5aの内側に取着する係止部材8は、その基部板部8aが前面板5の裏面に上下端部近傍面に沿うようにして前面板5に取付けられ、基部板部8aからガラス板7の背面まで延設された係爪部8bでガラス板7を押さえるようにしてガラス板7が前面板5の裏面に取着されている。前面板5の左右両端は、更に内側に向けて折曲形成されて背面板3の前面隣接位置まで延設されている。尚、背面板3の前面は鏡面仕上げされているのが好ましい。

【0010】上記のように構成された本実施の形態の墓前用灯籠1は、図2、図4に示すように、前面板5を前側に倒してロウソク立て4が露出した状態で、その芯材11にロウソクを立てて、このロウソクに火をつけた後、図1、図3に示すように、前面板5を起立させて墓の前部に置いたり、仏壇の前に置いたりして使用される。尚、背面板3の裏面に両面貼着テープを貼着して、この両面貼着テープを墓の前面や仏壇の前面に貼着することによって、墓前用灯籠1を固定設置することもでき、あるいは、基台2の台部裏面内部にが嵌め入れられたゴム板2aの下面に、両面貼着テープを貼着して、この両面貼着テープを墓の前部の上面や仏壇の前部の上面に貼着することによって、墓前用灯籠1を固定設置することもできる。

【0011】この実施の形態の墓前用灯籠1によれば、前面板5を前側に倒すことによってロウソク立て4を露出することができ、その芯材11にロウソクを立てることができるので、ロウソクを立てやすく、また、このとき、背面板3が風避けになるので、風の吹いている場所でも、ロウソクに火が消えることなく火を容易につけることができる。ロウソクを立てた後には、前面板5を起立させて前部を覆うので、風が吹いていてもロウソクの火が消えることがない。また、この前面板5は、板バネ9の先端下面に取着された蝶番10によって起倒可能に取着され、更に、起立時に板バネ9の蝶番10に対する押圧力で前面板5が起立方向へ付勢されて前倒れを阻止した構造となっているので、風等によって前面板5が不用意に前側に倒れることを防止できる。

【0012】更に、前面板5の上部を覆う屋根板6によって、雨等の水分が内部に侵入することがないので、雨等の水分によってロウソクの火が消えることを防止できる。しかも、ロウソク立て4内の芯材11の下端部にはパッキン12が嵌められているので、燃え落ちたロウソクが外部に漏れることを防げる。更に、ロウソク立て4内の芯材11の周りには、立てられたロウソクを保持するスプリング13が配設されているので、ロウソク立て4に立てられたロウソクが倒れることを防げる。しか

も、背面板3の前面が鏡面仕上げされていると、この鏡面でロウソクの火が反射され、前方をより明るく照らすことができ、更に、鏡面による乱反射によって複数のロウソクが立っているように見えるので見た目にも美しい利点がある。尚、上記実施の形態では、前面板5が逆向き三面鏡形状のものについて説明したが、これに限らず、平面視円形や平面視多角形のものも適用できる。

【0013】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の墓前用灯籠によれば、前面板を前側に倒すことによってロウソク立てを露出することができ、ロウソク立てにロウソクを立てることができるので、ロウソクを立てやすく、また、このとき、背面板が風避けになるので、風の吹いている場所でも、ロウソクの火が消えることがなく火を容易につけることができる。ロウソクを立てた後には、前面板を起立させて前部を覆うので、風が吹いていてもロウソクの火が消えることがない。また、この前面板は、板バネの先端下面に取着された蝶番によって起倒可能に取着され、更に、起立時に板バネの蝶番に対する押圧力で前面板が起立方向へ付勢されて前倒れを阻止した構造となっているので、風等によって前面板が不用意に前側に倒れることを防止できる。

【0014】更に、前面板の上部を覆う屋根板によって、雨等の水分が内部に侵入することがないので、雨等の水分によってロウソクの火が消えることも防止できる。しかも、全体が装飾性に優れて外観上見栄えが良い。また、背面板の前面が鏡面仕上げされている場合は、この鏡面でロウソクの火が反射され、前方をより明るく照らすことができ、更に、鏡面による乱反射によって複数のロウソクが立っているように見えるので見た目に美しい。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る墓前用灯籠の一実施の形態における前面板を起立したときの斜視図である。

【図2】実施の形態の墓前用灯籠における前面板を前側に倒したときの斜視図である。

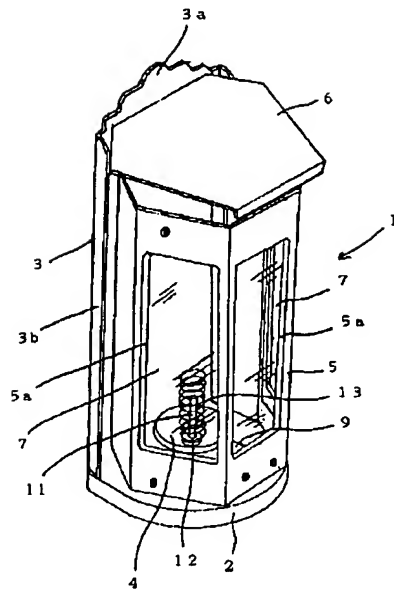
【図3】実施の形態の墓前用灯籠における前面板を起立したときの中央縦端面図である。

【図4】実施の形態の墓前用灯籠における前面板を前側に倒したときの中央縦端面図である。

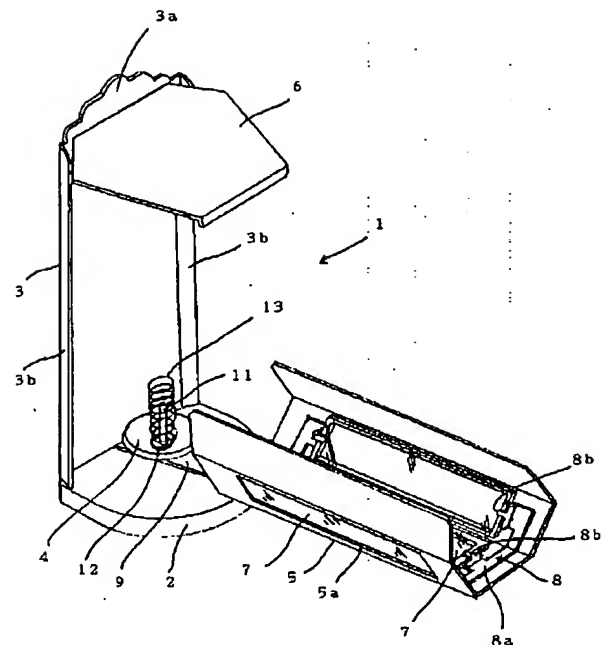
【符号の説明】

1	墓前用灯籠
2	基台
3	背面板
4	ロウソク立て
5	前面板
5a	覗き窓
6	屋根板
7	ガラス板
8	板バネ

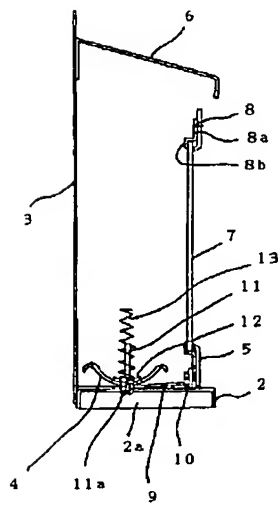
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

